

絆カップ

OP・ダート1200m M2
11月16日(日)盛岡競馬場
昨年の優勝馬・ウラヤ



いわちく杯 第15回 絆カップ (M2)

盛岡競馬場 3歳以上オープン・ダート1200m

11月16日(日) 17:35発走

絆カップは2011年10月10日、東日本大震災からの復興を祈念して創設されました。第1回から第3回まで地方競馬全国交流で行われ、第4回はJBC盛岡の開催に伴い、地元重賞で実施。第5回から第8回は再び地方競馬全国交流。第9回(2019年)から地元重賞へと移行しました。また2021年以降、盛岡1600mから盛岡ダート1200mで実施されています。

【注目馬情報】

★ウラヤ 牡6歳 畠山信一きゅう舎・水沢

昨年7月、中央3勝クラスから転入後、あっさり2連勝。続く青藍賞6着、マイルCS南部杯13着に終わりましたが、絆カップを優勝。重賞ウイナーの仲間入りを果たしました。今シーズンは当初、本調子を欠きましたが、4戦目の水沢戦を快勝。岩鷲賞でも2着を確保し、クラスタースタート6着から前々回完勝。前走2着はレース間隔が若干開いて太目もこたえましたが、ひと叩きして絆カップは予定どおりのステップ。2連覇に王手をかけました。

★レディブラウン 牝7歳 千葉幸喜きゅう舎・水沢

今季初戦の白嶺賞を2着にまとめて上々の滑り出しでしたが、以降は伸びひと息。4着2回が最高でしたが、3走前3着から牝馬重賞・ヴィーナススプリントを快勝。待望の初重賞を手に入れました。それがフロックでなかったことを前走1着で証明。好調サイクルに乗って3連勝で重賞2勝目を飾るか注目。

★エイシントルペード 牡4歳 板垣吉則きゅう舎・水沢

園田A級から岩手入りし、いきなり早池峰スーパースプリント、岩鷲賞と重賞2連勝。短距離路線の主役に躍り出ました。クラスタースタートは相手が大幅に強化されたのに加え、最も避けたかった最内1番枠に入って10着。以降は2着1回、3着2回と足踏みが続きましたが、盛岡1200mがベスト条件。首位奪回に燃えています。

★オスカーブレイン 牡4歳 小林俊彦きゅう舎・水沢

2歳時に門別・サッポロクラシックカップ、3歳時に交流・ハヤテスプリントを優勝。昨年12月に転入し、今季4勝。ひと頃精彩を欠いた時期もありましたが、前回快勝。自慢のスピードを武器に逃げ切りを狙います。

★スプラウティング セン6歳 酒井仁きゅう舎・水沢

中央3勝クラスから転入戦で水沢1400m重賞・栗駒賞を完勝。2戦目も快勝して好発進を決めました。青藍賞6着、マイルCS南部杯11着後は態勢を立て直しに専念。気分リフレッシュして絆カップへ臨みます。

★グットフォーチュン 牝6歳 櫻田康二きゅう舎・盛岡

中央2勝クラスから一昨年5月に転入。2勝2着2回3着3回と活躍しましたが、今季は3着1回が最高。伸びを欠くレースが続きましたが、前走はメンバー最速の上がりを見せ、復調の兆しがうかがえました。

文／松尾 康司